

子どもへの コロナワクチン 接種に 反対します

現在、国内では新型コロナウイルス感染の第7波に入り、4回目の
コロナウイルスワクチン接種も進行しています。

新型コロナウイルス感染防止のワクチンは、感染拡大を封じるために急
ぎ開発され、安全性を確認する手続きを特例承認で省略しました。「臨床
試験中の実験試薬」の状態であり、人体への長期的な影響は今のところ誰に
も予見できません。

ワクチンの成分が卵巣など、生殖機能に影響を及ぼす可能性がある不安視する
声が多くあがっています。2021年11月には「お子さんやお孫さんにワクチンを進
める前に～未成年接種を考える～」という意見広告が新聞に掲載されたり、全国有志医師の会が
2022年3月に「5～11歳の子どものワクチン接種中止及び副反応情報等の周知徹底」を全国
の首長に出すなど、ワクチン接種に警鐘を鳴らす動きが見られます。

これまで接種後の副反応について詳しい調査が行われておらず、情報も非常に少ないことから、大
田・生活者ネットワークは長期的な安全性が確立されていない新型コロナウイルスワクチンの子ど
もへの積極的勧奨に反対します。

「ゲノム 編集食品」を ご存知ですか？

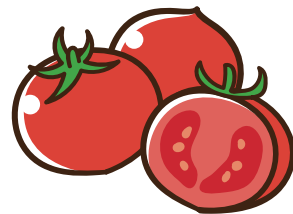
酵素を用いて特定の場所を切断し、DNAに突然変異を起こし、
栽培、飼育される食品の事です。

現在日本で流通しているのは高ギャバトマト、太ったマダイ、成長の早い
トラフグの3種類です。編集技術は、生物の遺伝情報を改変するもので未
知の毒性や、アレルギーを生じさせる危険性も指摘されています。

国の対応は安全性審査無しの届け出だけで販売を許可しており、表示の義務
付けも不要としています。リスクを抱えたまま、スーパーや店頭でゲノム編集食品が
並ぶことに不安を感じる人は多いと考えます。日本消費者連盟は消費者の選ぶ権利、知
る権利を保障するためには、安全審査や表示が必要だと訴えています。

このような中でゲノム編集トマトの取扱事業者によるゲノムトマトの苗を
介護福祉施設や全国の小学校への無償提供が計画されています。消費者の
選ぶ権利も保証されないまま、ゲノム編集食品は着々とその市場を広げ、
子どもたちをターゲットに擦り込みを始めているのです。

大田・生活者ネットワークは、区内の小学校へのゲノムトマトの苗の配布に反対し、ゲノム編集食
品安全審査と表示を市民と共に求めています。



3 **選挙はカンパと
ボランティアで
みんなが知恵や力を出し合い、選挙
を行います。**

2 **議員は交代制（ローテーション）**
議員は最長でも3期12年で交代し、
議員を職業化、特権化しません。

1 **議員報酬は
市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパ
で支えられています。議員報酬は市民
の政治活動資金に活かします。お金の
流れは公開します。

**生活者ネット
3つのルール**

カンパのお願い

大田・生活者ネットワークはカン
パとボランティアによってその活
動が支えられています。皆さまに
はサポーター登録、カンパのご協
力をお願いいたします。

郵便振替
口座番号 **00130-3-718897**
加入者名 「大田・生活者ネットワーク」